

参加のお申込みについて

- 申込用紙（別紙）をFAXにて送付してください。

（申込用紙は本校HPからもダウンロードできます。）

FAX 055-224-3510（JTB 関東 法人営業甲府支店）

- 11月18日（水）までにお申し込みください。
- 研究会への参加費（資料代含む）は1000円です。

会場のご案内

<電車>

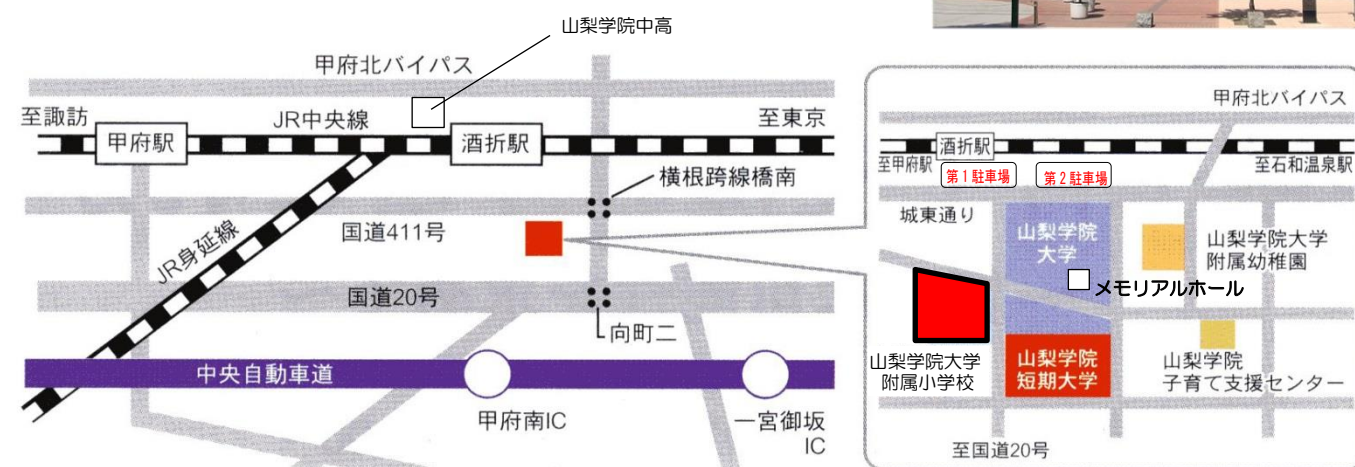
JR 中央本線酒折駅下車徒歩3分/JR 身延線善光寺駅下車徒歩13分

<バス>

山梨学院大学前下車

<自家用車>

第1・2駐車場をご利用ください



山梨学院大学附属小学校
YAMANASHI GAKUIN ELEMENTARY SCHOOL

〒400-0805 山梨県甲府市酒折1-11-1 TEL 055-224-1200 FAX 055-224-1231
e-mail k-yuichi@yges.ed.jp（研究主任 小林祐一） URL <http://www.yges.ed.jp/>

文部科学省研究開発学校

3年次研究発表会（中間発表）のご案内（2次案内）



研究テーマ

新設教科「科学科」による科学的リテラシーの育成

開催期日 2015年11月28日（土）

会場 山梨学院大学附属小学校
山梨学院メモリアルホール

新設教科 **「科学科」** 日本の理科教育の成果や財産を継承しつつ、
未来の社会を見据えた資質・能力(科学的リテラシー)を育成する。

目標

自然や科学・技術に関わる
事物・現象に進んで関わり、
観察・実験等とその省察
による課題の探究や解決
を通して、
自然や科学・技術と
豊かな関係を築くための
科学的リテラシーを培う。

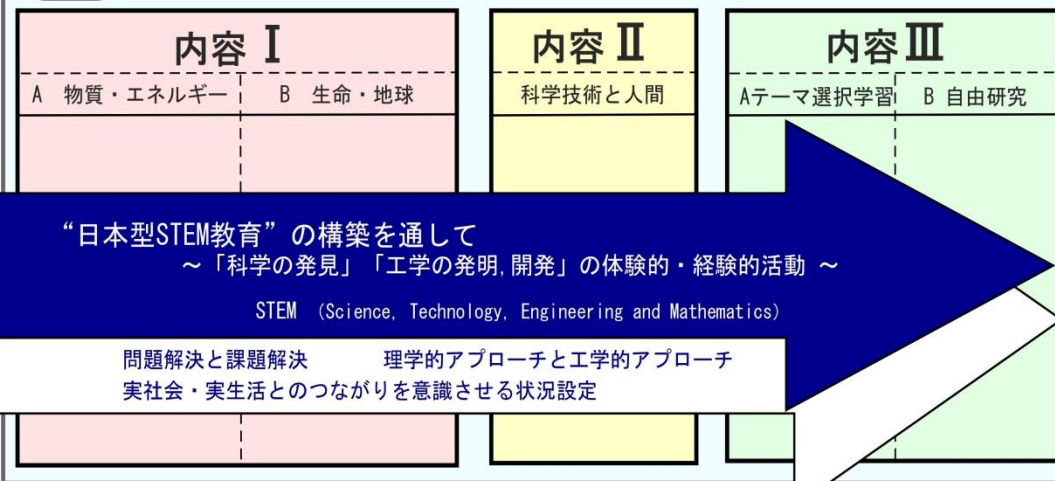
※「科学的リテラシー」とは…

◎自然や科学・技術そのものと、それらがもたらす自然界や人間社会の変化に対して、適切かつ合理的な判断と意志決定に支えられた行動をとることができるための、**総合的な資質・能力**。

◎4視点 → 自然や科学・技術に関する

- ①知識の習得・概念の理解
- ②科学的な思考に基づく探究
- ③感性・心情と態度
- ④社会の状況に対応する能力

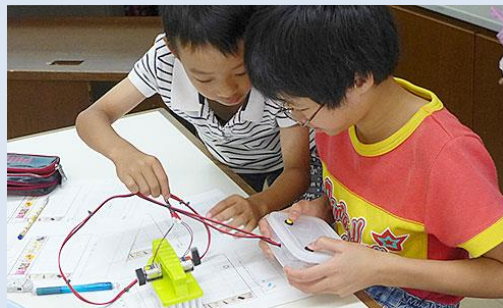
内容



授業1 (内容I)

4年b組
「自在に動け！モーターロボ！
～制御に挑戦～」

制御を左右する複数の要因を、体験を通して理解し、モーターロボの性能向上を考えます。



授業2 (内容II)

4年a組
「デジタルカメラの開発」

日本の技術力とチーム力の象徴としてデジタルカメラを例に、その開発の物語と私たちの生活との関わりを学びます。



日程

9:20 ～9:50	9:50 ～10:00	10:00 ～10:45	10:55 ～11:40	11:40 ～12:50	13:00 ～13:25	13:35～15:35	15:40 ～15:50
受付	移動	授業2 (内容II)	授業1 (内容I)	休憩・昼食	研究発表	パネルディスカッション	閉会行事
		授業3 (内容III)				会場：山梨学院メモリアルホール	

授業3 (内容III)

3年 テーマ選択学習

ゴールフリーの、複数のメニュー・多様な学習形態の学習を、子どもの自己選択によって進めます。

テーマ1 「海の生態系講座」

自然を読み解く鍵となる視点“つながり”を、海の生き物を通して学びます。



テーマ2 「マグマあつあつ火山講座」

火山の活動とそれを規定するマグマの成分について、体験と感性を大切にしつつ学びます。



テーマ3 「バラバラ分解講座」

実生活の中で、ともすれば“見えなくなっている”技術について、身近な機械の分解を通して学びます。



テーマ4 「電気とくらし講座」

身近なエネルギー「電気」について、発電の原理をくらしとのつながりを意識しながら学びます。



**パネルディスカッション
「科学教育の課題と展望」**

コーディネーター

日置 光久 先生

(東京大学大学院特任教授

・前文部科学省初等中等局視学官)

パネリスト

清原 洋一 先生

(文部科学省初等中等局主任視学官)

猿田 祐嗣 先生

(國學院大學教授・国立教育政策研究所名誉所員)

小林 祐一 (本校教諭・研究主任)

コメンテーター

田中 智志 先生

(東京大学大学院教授・本校教育顧問

・本校学習カリキュラムセンター長)